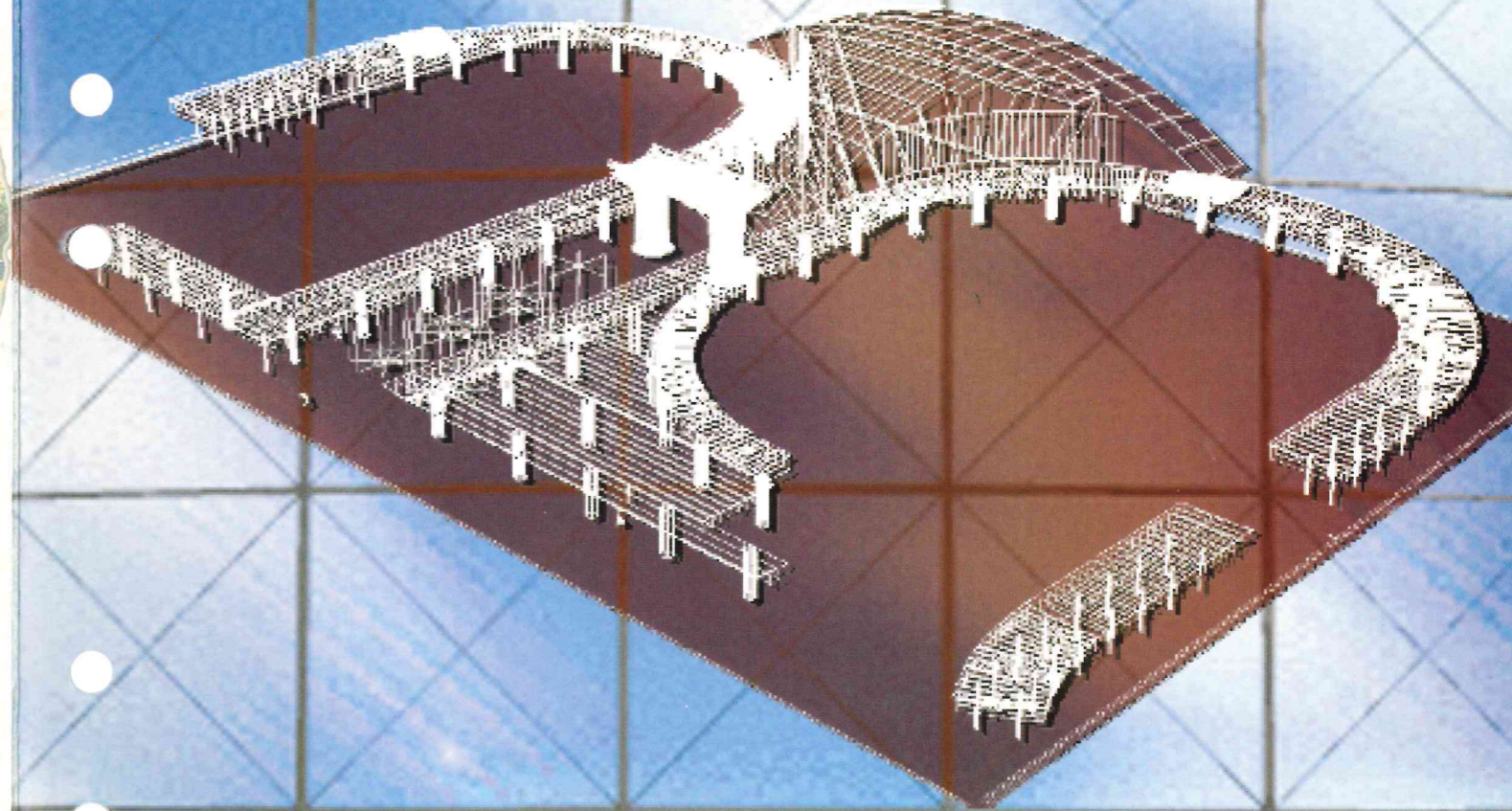


# 金沢駅北土地区画整理事業

## 金沢駅東広場



金 沢 市

...ね金沢

石川県には五彩の文化が色濃い。九谷の五彩や加賀友禅の五彩のほか、寺院の行事には五色の吹き流しや旗が立ち、婚礼には五色葉子が配られる。

五彩として最も広く知られているのが、江戸初期に加賀の地で花開いた色絵磁器の九谷を源流とする九谷焼であろう。

上絵の基本色である赤、緑、紫、黄、紺青の五色を指し、上薬の原料自体は有田など他の陶磁器産地と変わらない。

しかし九谷の五彩の場合、古九谷の時代から現代まで、鮮やかな柿右衛門の赤や透き通るような青を望まず、粗くすりつぶした釉薬で

作品に豪快さや深みを加えてきた。

粗くすりつぶした釉薬で

作品に豪快さや深みを加えてきた。



...ね金沢  
いい街づくり

金沢市建設部駅周辺整備課

〒920-0852

石川県金沢市此花町3-2 ライブ1ビル2F

建設

6 駅周辺整備

駅周辺整備課

TEL 076-221-5338

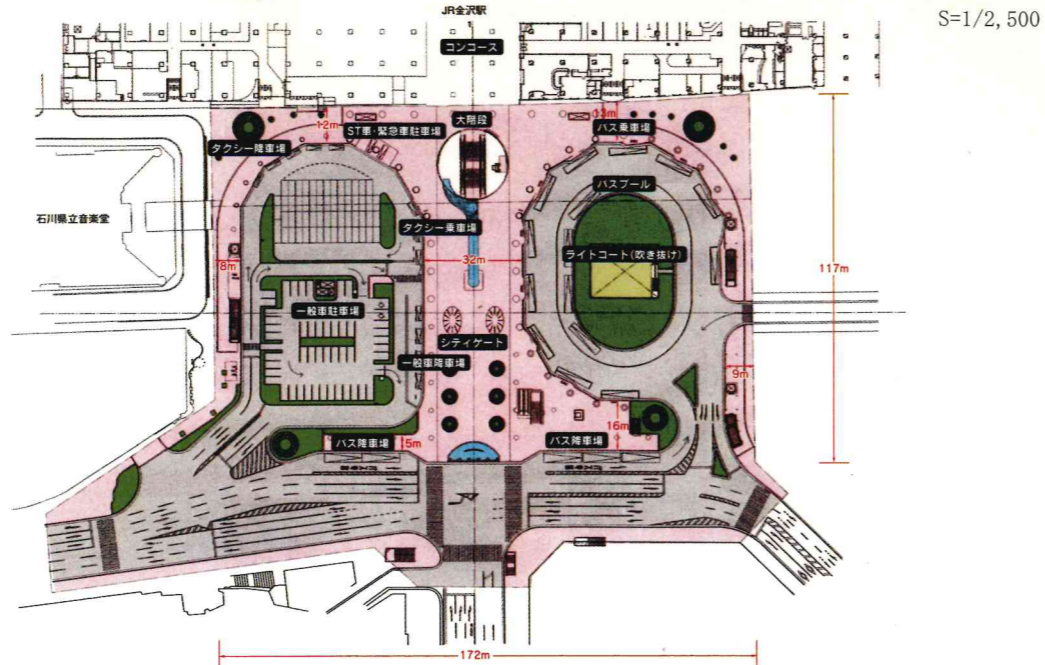
FAX 076-221-5946

E-mail: ekisyuu@city.kanazawa.ishikawa.jp

この印刷物は、環境保護のため再生紙を利用しています。

## 地上広場の施設概要

現況 10,900㎡ → 整備後 19,400㎡  
 整備規模 幅 172m、奥行 117m



- ①バスターミナル…乗車 11バース、降車 5バース、待機 8バース  
 タクシー乗降場…乗車 3バース、降車 5バース、待機 57バース  
 一般駐車場…駐車台数 45台  
 (屋根付 2台、降車 4バース)  
 その他施設…S T車・緊急車駐車場 2台

- ②大屋根 (ガラスドーム) 3,100㎡  
 屋根 (強化合わせガラス 8mm+8mm 1.5m角)  
 壁面 (強化合わせガラス12mm+4mm外 1.5m角)  
 構成部材 (アルミ立体トラス・張弦材の複合構造)  
 積雪対策 (先端部にツララ防止ヒーターの設置)

- ③乗降場シェルター 4,100㎡  
 (幅 6~8m、高さ 6m、内高 4m)  
 屋根 (強化ガラス 12mm+太陽電池+網入ガラス 6.8mm)  
 構成部材 (スチールトラス)

- ④シティゲート…天端幅 24.2m (通路幅 7.5m)  
 屋根高 13.7m (内高 10.4m)  
 米松集成材 33cm角

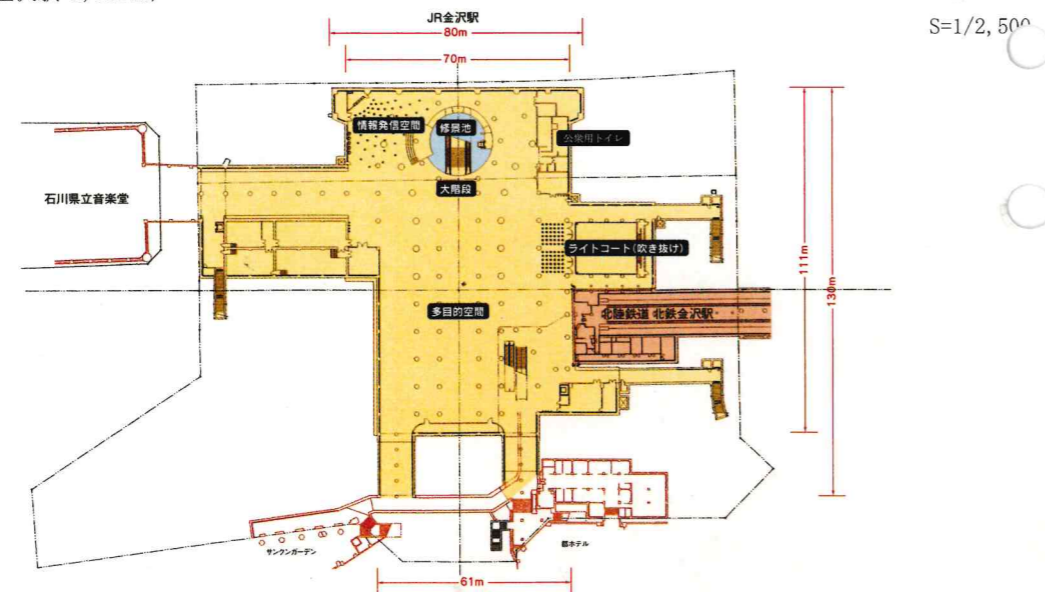
- ⑤修景施設…流れ (幅 3m、深さ 17cm、水深 4cm、長さ 30m)  
 池 (噴水時計)、植栽

- ⑥その他施設  
 昇降設備…エレベーター 5基、エスカレーター昇降 2箇所  
 階段 5箇所  
 消雪設備…歩道部・一般駐車場は無散水、車道部は散水  
 照明設備…シェルター下通路照明、庭園灯、街路灯  
 案内所…バス、タクシー  
 駅前交番…(県事業で整備)

- ⑦地上仕上げ…歩道部 御影石 (さくら色系)  
 車道部 アスファルト舗装

## 地下広場の施設概要

全体 11,600㎡ (広場 10,550㎡、北鉄金沢駅 1,050㎡)  
 整備規模 幅 70m、奥行 111m



- ①広場…中央部に多目的広場 (空間) を配置  
 地下通路 5方向 (石川県立音楽堂、堀川通り側、  
 ホリディン側、金沢都ホテル側、ポルテ金沢側)  
 管理センター (24時間監視) および公衆用トイレ  
 情報発信空間  
 (大型マルチビジョン、インターネット端末外)

- ②修景施設…池 (径 18m、滝)  
 ライトコート (地上への吹き抜け)  
 (幅 19m、長さ 16m、植栽)

- ③設備機械…受変電設備、非常用発電機、  
 給排水・換気設備、防火・防災設備等

- ④地下仕上げ…床、壁→磁器タイル、天井→ボード



- ・大屋根 (傘をさしかけるもてなしの心を表現)
- ・シティゲート (加賀宝生のつづみを表現)
- ・せせらぎ (用水の流れを表現)
- ・床仕上 (九谷五彩を配色し、わかり易さを表現)



- ・大屋根、シェルター
- ・エレベーター、エスカレーター (垂直移動の支援)
- ・点字タイル、音声誘導 (視覚障害者の支援)
- ・総合案内サイン、LED案内表示 (視覚・聴覚障害者の支援)
- ・防火、防災施設



- 二 (たくみ) 型の配置 (歩行者優先型)
- ・地下広場の5方向通路
- ・バス、タクシー乗り場、一般駐車場
- 地道地下駅との一体整備



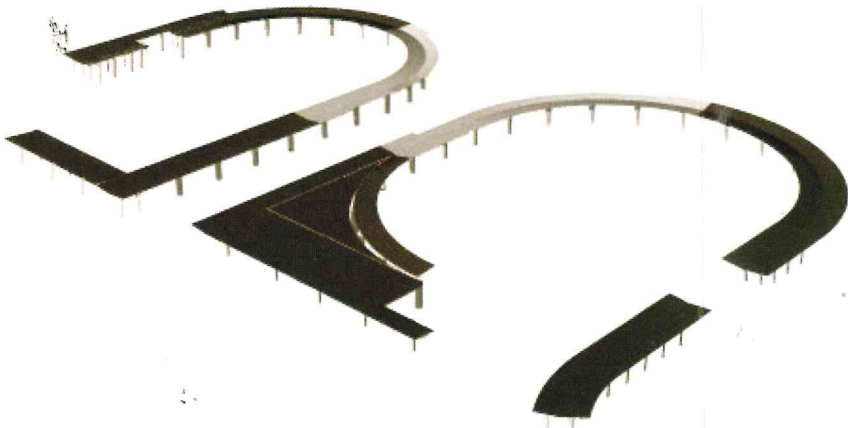
- ・マルチビジョン (情報発信)
- ・IT関連施設 (インターネット端末)
- ・多目的広場



- ・太陽光発電  
(シェルター屋根に太陽電池パネルを設置)
- ・雨水再利用 (トイレ、植栽への利用)
- ・ライトコート (自然光と自然換気)



## 次世代への配慮



### 太陽光発電

利用用途 地下照明等  
年間予想発電量 84,400kWh  
「一般家庭30世帯分に相当」

### 雨水再利用

年間 約 7,000m<sup>3</sup>

## 北陸鉄道浅野川線移設地下化事業

事業主体 金沢市 (金沢駅北土地区画整理事業)

事業手法 土地区画整理事業における限度額立体交差事業

事業期間 平成7年度～13年度  
起工式 平成 8年12月19日  
供用開始 平成13年 3月28日

路線概要 1日の運行本数 84本〔平日〕 (平成13年1月現在)  
1日の乗降客数 約4,100人 (平成11年度実績)  
営業区間 北鉄金沢駅～内灘駅  
営業延長 6.8 km  
停車駅 12駅

工事概要 移設地下化工事全体延長 L = 707m  
掘割り部 L = 428m  
ずい道部 L = 279m  
(内 駅部 L = 94m)



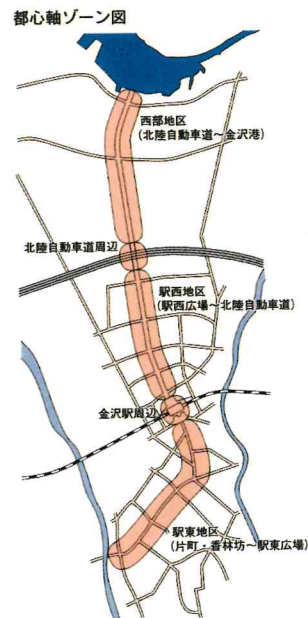
### 事業の特徴 (移設地下化によるメリット)

- ① 金沢駅東通り線との立体交差化により、東西市街地間の交流の円滑化と良好な宅地造成が図れる。
- ② 踏切を4箇所なくすることができる。
- ③ 側道整備が不要となり、土地区画整理事業全体の土地利用の増進が図れる。
- ④ 地下駅を金沢駅東広場内へ53m延伸することが可能となり、バス、タクシー、JR等の公共交通機関や県立音楽堂等の周辺施設への利用が便利になる。

# 金沢駅東広場の位置づけ

金沢都心軸は、片町・香林坊から武蔵ヶ辻、金沢駅、金沢港に至る本市の動脈であり、格調の高い近代的な都市空間として整備を目指しています。

金沢駅東広場はこの都心軸の中心に位置し、金沢市の中心市街地への玄関口でもあり、伝統文化と現代文化の融合するところでもあります。金沢駅東広場を交通結節点としての機能強化を図るとともに、歩行者優先型の世界都市金沢の玄関口にふさわしい広場づくりを目指しています。



## 金沢駅東広場整備方針

### 基本構想

「伝統の広場」「歩行者優先型広場」

### 整備方針

- 文化…金沢らしさの創出
- 安全…充実した歩行者空間とバリアフリーの徹底
- 交通…交通結節点としての合理性と機能性の向上
- 交流…出会いとにぎわいの創出
- 環境…雨水再利用と自然エネルギーの導入